

# 世界人形行脚記 (七)

三八

——世界教育大會より歸りて——

フレイベル館社長 高 市 次 郎

## ▽伊太利ミラノ△

アルプス越の鐵道によつてベルンから伊太利へ、北部伊太利のミラノに着く。

ミラノ市は伊太利三都のうちの最も大きい市街を爲す産業都市と言へませう。各種の製造工業が盛んで、就中、絹、毛織物、綿布製品等の外に、美しい彫刻に金箔を施した所謂ビザンチン風の美術的家具や、大理石(アラバスタ)の織美な彫刻なきが、主要な産物として賣られてゐます。恰も我が大阪市のやうな感じで、伊太利に於ける金融界の中心をなしてゐます。人口も百萬以上に及び、仲々賑しい。羅馬やナポリはエトランゼイの觀光客で賑ひ、此のまちは各種の産業で繁盛してゐます。

## ▽四百廿年を費したツォーモの建築△

戦亂の絶え間なかつた北部伊太利中世の遺物といふ、到る所、寺院のドームや尖塔を見受けますが、此のミラノのツォーモ(大寺 Duomo)もその一つでありませう。世界第三の大寺院と言はれてゐるだけに、その規模の壯大なことは云ふまでもなく、何しろ西紀一三八六年に起工して、一八〇五年に竣工したといふ、其の工事に四百十九年を費してゐるなきは、性急な我々日本人には聊か見當のつかない驚嘆に値する事實であります。

地下室には壯麗な一區劃があり、其處に硝子の箱の棺が横へられてあります。此の寺院の聖僧セント・ハシスの柩であつて、外部から觀られるその屍體はミイラの如くになつ

てゐるのであらうが、金色燦然たる法衣を纏ふて、端然として久遠の安らかさに唼を閉ぢてゐるさまは、周圍を調和して、幽玄にして又壯嚴な感じに打たれました。

此のゾーモの外廓には二千個の等身大の大理石像がならび、數十の尖塔ぎ雲表に聳え、而もその各々の頂端には聖者の立像があつて壯觀を極めてゐる。善男善女の此のゾーモに參詣するもの誠に多い。

### ▽虚弱兒童の教育△

それから、此の町で私達の注意を惹いたものに、市の虚弱兒童をあつめて、自然療法によつて健康の増進をはかると共に、學業も課する、謂はゞ我が國の林間學校の主旨の如き施設をした學校がありました。かゝる施設は歐洲各地にその類を見ないことはないが、私たちが此處を參觀した時は、氣候もまだ暑く、兒童が一日に三回、何れもシャワーにかゝらせられるといふ、その場所など、市の設立に係る學園だけに、誠に行き届いた設備でありました。廣い長い場所に無数のシャワーが設けられてゐました。蔬菜園、

花樹園、その他の設備もあり、兒童自身が總てこれ等の世話をしてゐます。

をさな兒の思ふがまゝに小春かな

食事は晝と晩とに學校から與へられ、私たちは丁度此の可憐な少年少女達が嬉々として食卓に就く時間であつたが、美しく日光に華やぐ青葉の林の下蔭に卓が据えられる。一尺幅程の板に脚をさりつけた簡単な食卓で、その上に子供たちによつて其の日のお獻立が並べられたのですが、年長兒童が幼いものをいろいろと指導して用意してゐました。

見るに御馳走はパン、野菜スープ、オムレット云ふ所、夫れにチョコレートのお菓子がつき、果物としては葡萄の一房が添へてある。一體、伊太利では葡萄が頗る安價であり且つうまい。我が國で二十錢位のものが、伊太利では實に二錢か三錢ほぎで、その漿果は蒼く澄徹して水の垂れるやうであります。

透きこほり種までよまる葡萄かな

教室にはムッソリニ首相の寫眞が飾つてあり、ファシズ

ム思想の行き渡つてゐるこゝを頷かせる。

聞けば十年程前から市當局が特別施設として設立したもので、斯うして三ヶ月乃至六ヶ月間を此處に收容し、それ

々各自の屬する學校に

歸らせるものである。そ

の成績は非常によいとい

ふ。

### ▽ナポリを見て

### 死ね△

私たちはミラノにおい

こまをして、午前七時半

に、南伊太利のナポリを

さして車中の人となる。

ミラノを發つてから十五時間、首都ローマの訪問を後日に

廻はして、午後十時五分にナポリにつきました。

途中は英國や佛蘭西のやうな、あの緑の柔いローンは見

られず、恰も我が日本の地形に酷似して、列車は山間を縫

ひ、また南歐獨特の美しい蒼空の下に、見渡すかぎり果物

園―カンラン、葡萄、梨、桃等の果樹林を走る。各所の高

い山頂に一部落を成して白壁の住宅が日光に輝いて私たち

の眼底に墮る。車中、十

錢一箇を以て葡萄を帶め

たが、その安いこゝこゝ、

その甘美なこゝこゝ！二人

でも到底喰べきれぬ程で

ありました。

ナポリ市は我が神戸市

の如く、市街はなだらかな

傾斜になつてゐて、南

伊太利獨特の情趣を漂は

せた段々街の建物も、此

の海岸を洗ふ美しい水と相照映して捨てがたい風致であり

ます。Ve di Napoli epoi muori. (ナポリを見て後に死ね)

こゝへ言はれてゐる。

流石は南歐、地中海岸に於ける氣候は暑い、伯林では曇



### ▷靴◁

ミラノ市で買つた大石彫刻

ありました。

ナポリ市は我が神戸市

の如く、市街はなだらかな

傾斜になつてゐて、南

伊太利獨特の情趣を漂は

せた段々街の建物も、此

の海岸を洗ふ美しい水と相照映して捨てがたい風致であり

ます。Ve di Napoli epoi muori. (ナポリを見て後に死ね)

こゝへ言はれてゐる。

流石は南歐、地中海岸に於ける氣候は暑い、伯林では曇

が降り、厚地の外套を着てゐたのに、ナポリに來た私たちは浴衣を着て暑さを凌いでものであります。殊にナポリ見物の其の日は暑くろしく、案内者はワイシャツを汗みぎろにしてゐました。

市街には、あの有名な伊太利亞珊瑚、鼈甲等の細工物、溶岩に細工を施したもの、貝殻に美しい彫刻を施したものなど賣つ



◁見なさを▷



◁娘のみく水▷

刻彫小石理大ためともで市ノラミ

てゐる。私は日本の帶止めの飾り程の大きさの貝殻に彫刻をして繊細な賦彩をした聖母マリアの像を帯めたが、その顔は小豆大で、その崇高端麗な容貌は精緻な技巧を以て見事に表現されてゐた。所謂マイノル、アートミして小美術品が多く賣られてゐる。

▽ミューゼ・  
ナシヨナル△

此の地の博物館はミューゼ・ナシヨナルにして最も世界的に名高い。古代藝術の最高表現云はれてゐる夥しい大理石像や青銅像や、ボムベイの廢趾から發掘された今から約一千九百年以前の古代文華の燦然として咲き亂れた梯を偲ぶ幾多の藝術品にも心惹かれました。斯うして古代の文化を語るものとしては、埃及カイロの博物館、羅馬ヅチカンの夫れも、此のミューゼ、ナシヨナル等に私の記憶は甦へる。

ボムベイ發掘の女人像は概して着衣のもので裸體のものは殆きない。之れに反し、男子像は全裸の一絲も纏はざるものが多い。そして男子の局部も極めて小さく、符號程度に現されてゐるのも、その雄偉な、逞しい人體美の創造に於けるプロポーションの上の扱ひ方こそ想はれる。そして眼球に大槪石を嵌めて瞳を白眼を克明に現はしてゐるのも特に私の注意を惹きました。

### ▽船の中の學校△

このナボリの數々街を洗ふ美しい海岸に、老朽の軍艦を

つけて、之を學校とした「船の中の學校」を參觀しました。

校長は海軍少將の制服をつけた立派な人、主に貧民の八歳からの子供を入学させ、機械工業を課し、海軍思想を養成し、その適せるものは海軍に、また、志望によつては社會各方面の職業にも振り向けるといふ、社會政策上の一施設として設けられてゐるもので、折から體操の時間で、頗る腕白な連中が、一齊に活潑に動作をはじめたが、その體操たるや、我が國の柔道に酷似してゐて頗る面白い。校長先生、鬚を撫で「日本の柔道の長を採つたもの」といふ。

乞はるゝまゝに署名した參觀人名簿の頁をかへせば、夫れはく夥しい我が同胞の參觀者ではある！、知名の誰れ彼れの名をも懐しく讀まれました。

ナボリの宿に先づ足を伸して、こゝからボムベイへも、またヴェスヴィヤスへも訪れてみようと思ふ。